

# 事務事業チェックシート

事務事業No 771 事業名 小型家電等リサイクル事業

分野別目標	4	自然環境と都市基盤が調和した快適なまち
政策	4	自然環境・資源循環型社会の形成
施策	4	循環型社会の形成
基本方針	2	一般廃棄物の適正処理ができる体制の確保

事業種別	継続	主な事務事業
事業期間	～	
事業実施の根拠法令	使用済小型電子機器等の再資源化の促進に関する法律	
関連個別計画		
担当課・担当課長 (Tel)	収集センター	中谷 雅昭 (471-1503)
関連課		

[事業基本情報]

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費
	その他		
事業区分(2)	自治事務		法定受託事務
	その他		
会計・予算区分	会計		
	款		衛生費
	項		清掃費
	目		塵芥処理事業費
	大事業		塵芥処理事業
事項		小型家電等リサイクル事業	

「3つの約束・44の約束」との関連性

3つの約束	産業を元気に	まちを元気に	人を元気に	非該当
		○		
44の約束				○

### 1 事業概要及び実施内容

事業概要	事業目的（「誰・何」をどういう状態にする」ための事業か）	事業内容				
	小型家電のリサイクルを推進する。	家庭から排出される小型家電（268品目）を各地区、年2回指定した場所で回収し、回収したものを分別し、有用金属は、リサイクル業者に有償で引き渡す。				
実施内容		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
		年2回 各地域へ回収に伺い、回収した小型家電から有用金属を取り出し、リサイクル業者に有償で引き渡す。	年2回 各地域へ回収に伺い、回収した小型家電から有用金属を取り出し、リサイクル業者に有償で引き渡す。平成26年度から青岸清掃センターに自己搬入された小型家電についても同じようにリサイクルを行う。	年2回 各地域へ回収に伺い、回収した小型家電から有用金属を取り出し、リサイクル業者に有償で引き渡す。平成26年度から青岸清掃センターに自己搬入された小型家電についても同じようにリサイクルを行う。	年2回 各地域へ回収に伺い、回収した小型家電から有用金属を取り出し、リサイクル業者に有償で引き渡す。平成26年度から青岸清掃センターに自己搬入された小型家電についても同じようにリサイクルを行う。	年2回 各地域へ回収に伺い、回収した小型家電から有用金属を取り出し、リサイクル業者に有償で引き渡す。平成26年度から青岸清掃センターに自己搬入された小型家電についても同じようにリサイクルを行う。

### 2 事業コスト

事業費等 千円		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度	
		当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算	計画	決算
	事業費	4,343	3,821	425	425	425	425	425	425	425	425
	伸び率 (%)	-	-	-90.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	人件費	常勤職員	87,006	88,379	88,379	88,379	88,379	88,379	88,379	88,379	88,379
		非常勤職員	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		小計	87,006	88,379	88,379	88,379	88,379	88,379	88,379	88,379	88,379
	国庫支出金	0	0								
	県支出金	0	0								
	市債	2,700	2,400								
	その他	0	0								
	一般財源（税等）	1,643	5,921								
所要人数	常勤職員	11.63	11.63	11.63	11.63	11.63	11.63	11.63	11.63	11.63	
	非常勤職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0	0	0	0	
主な予算内訳		自動車用燃料218千円、自動車修繕176千円、自動車保険31千円									

### 3 目標及び実績

活動指標	指標名及び達成状況				平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
					年度目標値				
					実績値				
	単位		全体目標値	全体目標達成度	年度別達成度				
					年度目標値				
					実績値				
成果指標	小型家電回収量				年度目標値	113,000	226,000	226,000	226,000
					実績値	129,144			
	単位	t	全体目標値	全体目標達成度	年度別達成度				
					年度目標値				
					実績値				
	単位		全体目標値	全体目標達成度	年度別達成度				

#### 4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している		横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か		現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か		市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む		中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか		できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか		達成している(90%以上)		おおむね達成(70~90%未満)	達成していない(70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある		一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか		できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正		負担は求められない	見直しが必要

#### 5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				
	現状維持				
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	
「見直し」 「改善」案	